

主な仕様

品名：自動灌水セット

品番：E0019

<①かんたん水やりタイマー>

電 源：単3形アルカリ乾電池4本（別売）

水やり間隔	毎日1回、毎日2回、 1日おきに1回、2日おきに1回
水やり時刻	0時～23時（1時間おき）
水やり時間	（1～10、15、20、25、30、 40、50、60、70、80、90分）

<②ユニラム17CNL 1.6L/h(48m巻)>

特 徴：点滴式吐水、目詰まり防止機能、水だれ防止機能

吐水量：1.6L/h（1穴あたり）

点滴箇所間隔：300mm ピッチ

適正水圧：0.1MPa～0.4MPa（推奨 0.2MPa～0.4MPa）

製品仕様

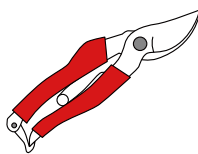
- 使用用途：植物への水やり
- 使用水：一般水道水（上水）
- 最大使用可能水圧：0.4MPa
- 耐熱温度：45℃
- 原料樹脂：ABS樹脂、ポリアセタール、
アクリル樹脂、ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂、
エラストマー、ポリエチレン、シリコン、
フッ素樹脂
- 金属材料：ステンレス、
青銅棒 CAC 406C+クロムメッキ
- ゴム材料：EPDM、NBR

注意

- 本品は屋外専用品です。それ以外の目的には使用しないでください。
- 当社指定部品以外は使用しないでください。
- 凍結のおそれがある場合は、蛇口を閉め「⑨タイマー接続コネクタ」をはずし、すぐ水やりボタンを押して本体にたまった水を抜いてください。（タイマーの水抜き方法に関しては、別添、保証書付き取扱説明書を参照してください。）
- 水圧が弱い場合は吐水量が充分でなく、水圧が高い場合は破損のおそれがあります。適正水圧以外では使用しないでください。適正水圧以外で使用される場合は、減圧弁設置などの対応をしてください。
- 製品仕様以外での使用は保証対象外となります。
- 改造しないでください。
- 火気の近くで使用しないでください。

準備するもの

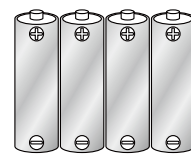
園芸用はさみ または 大きめの文具はさみ



軍手（すべり止め付）

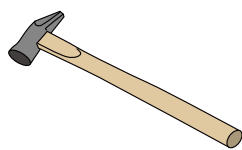


単三アルカリ乾電池 × 4 本

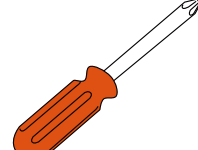


タイマーの電源です。（マンガンタイプ、充電式は使用できません）

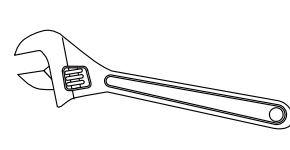
ハンマー



プラスドライバー

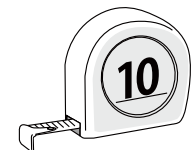


レンチ（25 mm以上開くもの）



⑨タイマー接続コネクタのネジ締めに使います。

メジャー



あるとより便利です。（チューブカット時の採寸に使います）

自動灌水セット (E0019)

水やりタイマー、点滴式チューブ、継手など灌水（水やり）に必要なものを1セットにしました。

このキットがあれば植木の自動灌水が可能になります。

点滴式チューブ（ユニラム17CNL）からポタポタと水が出て土壌を潤します。

庭の植木や垣根、寄せ植え、小規模な家庭菜園などへの灌水に便利です。

水やりタイマー付き

庭木、垣根
寄せ植え、家庭菜園
の灌水に

約20㎡まで
対応可能



自動灌水セット内容品



①日本製、②日本製・イスラエル製、③④⑤⑥⑦⑧⑨はイスラエル製

商 品 名	用 途 ・ 特 徴
①かんたん水やりタイマー	タイマーセットした時刻に自動で水やりをします。
①水分センサー	土にさして土壌水分を検知します。水やりが不要な場合はタイマー予約をキャンセルします。
②ユニラム17CNL 1.6L/h (48m巻)	ポタポタと水が出る点滴式チューブです。水やりしたいエリアに設置します。
③ラムblankパイプ(5m巻)	送水用のチューブです。タイマー直下や水やりが不要な場所に設置します。
④エルボ・バーブコネクター	チューブを直角に曲げる時に使います。
⑤チーズ・バーブコネクター	チューブを分岐する時に使います。
⑥ストレートコネクター	チューブの延長や補修をする時に使います。
⑦ラインエンド	チューブの末端で止水する時に使います。 ※完全な止水はできません。
⑧フック(スタビライザー)	チューブを地面に固定する時に使います。
⑨タイマー接続コネクター	タイマーとチューブを接続するパーツです。チューブのスタート部分(タイマー側)に使います。

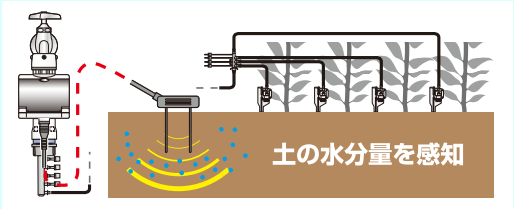
※部品販売も行っております。追加注文の際は、カタログをご確認のうえ、裏面問い合わせ先までご連絡ください。

内容品説明図

タイマー・センサーについて

水分センサー機能

土の水分量を検知し、設定した水分量より多いときに水やりをキャンセルします。



かんたん水やりタイマー

蛇口に取り付けるだけ ●
ドライバーひとつで簡単設置。

見やすい日本語表示 ●

乾電池式(電池別売)

電源のない所でも使用できます。
単三アルカリ乾電池4本使用。

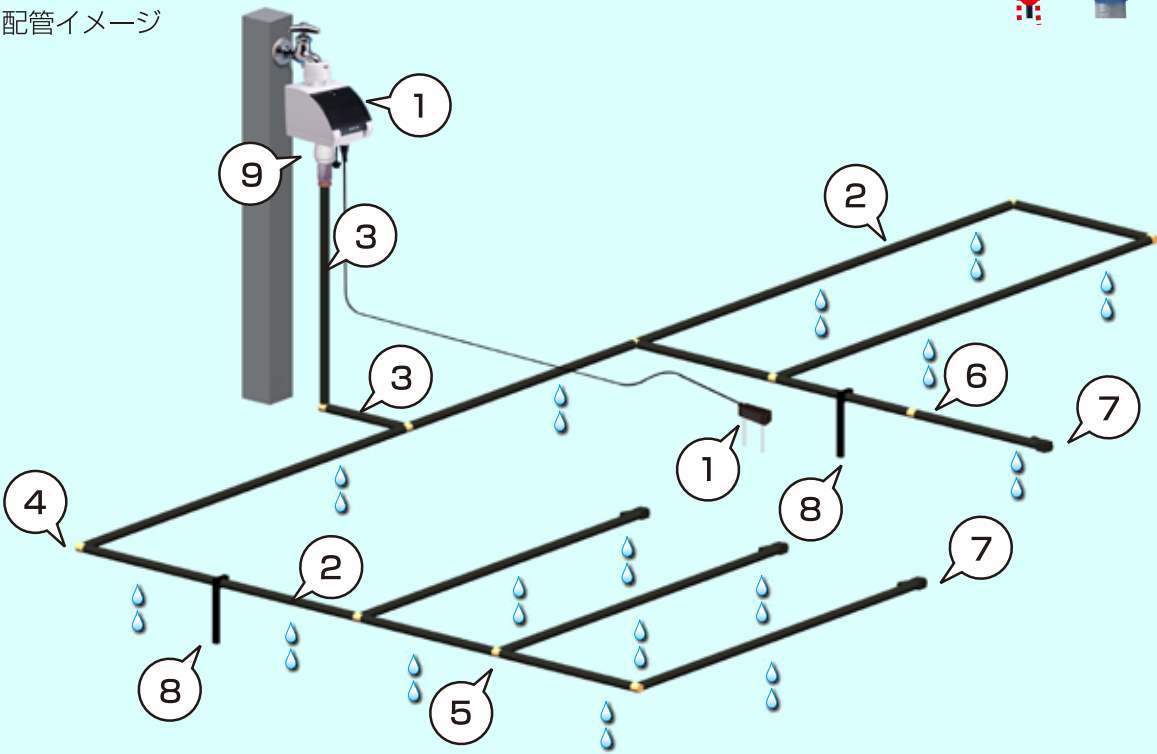
水やり間隔：毎日1回、毎日2回、
1日おきに1回、2日おきに1回

水やり時刻：
0時～23時(1時間おき)

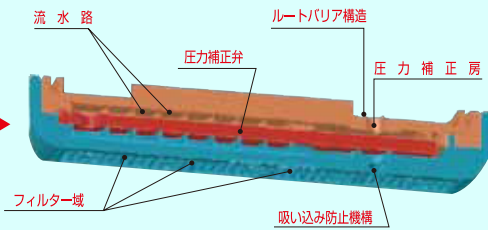
水やり時間：
1～10、15、20、25、30、40、
50、60、70、80、90分



※配管イメージ



点滴式灌水チューブとは…

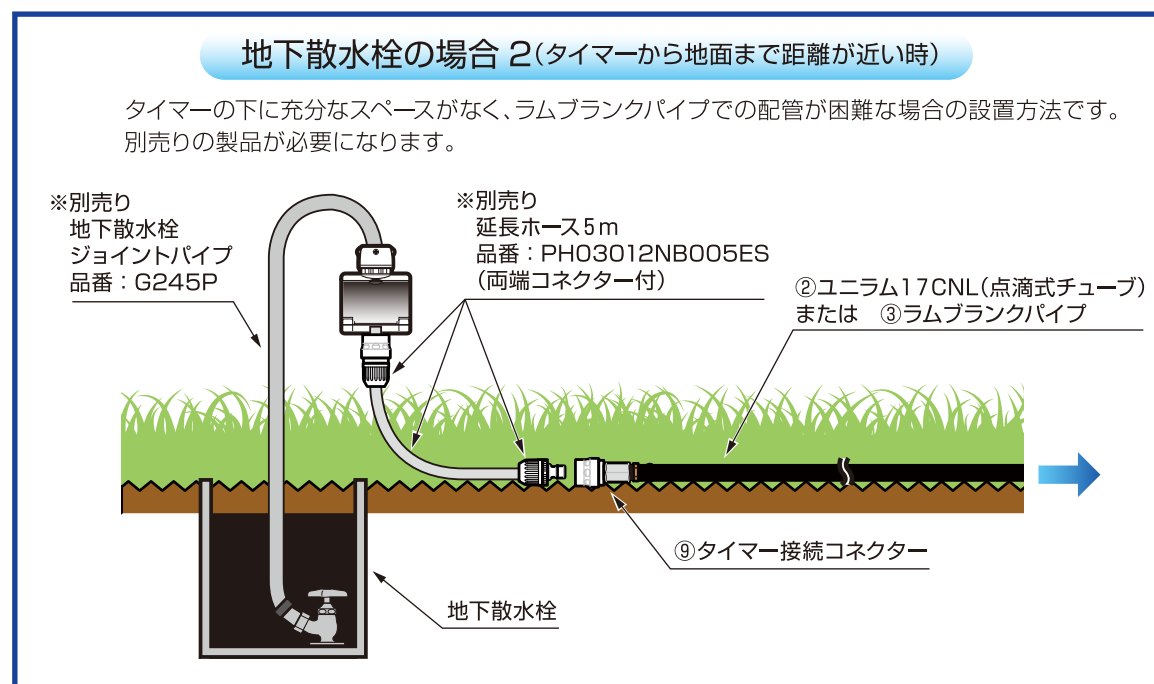
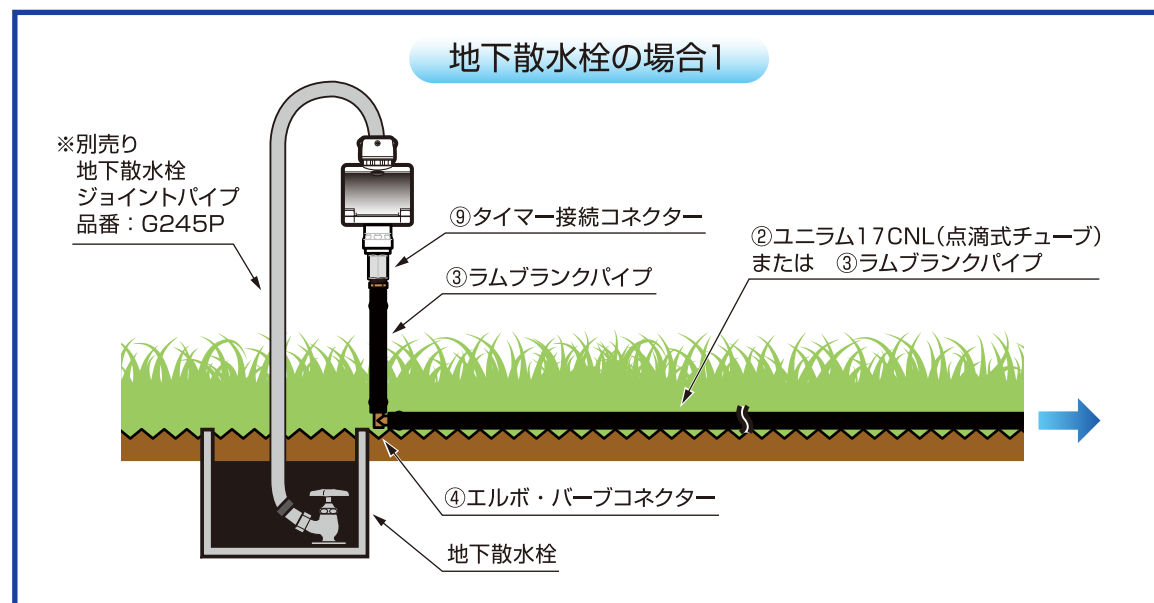
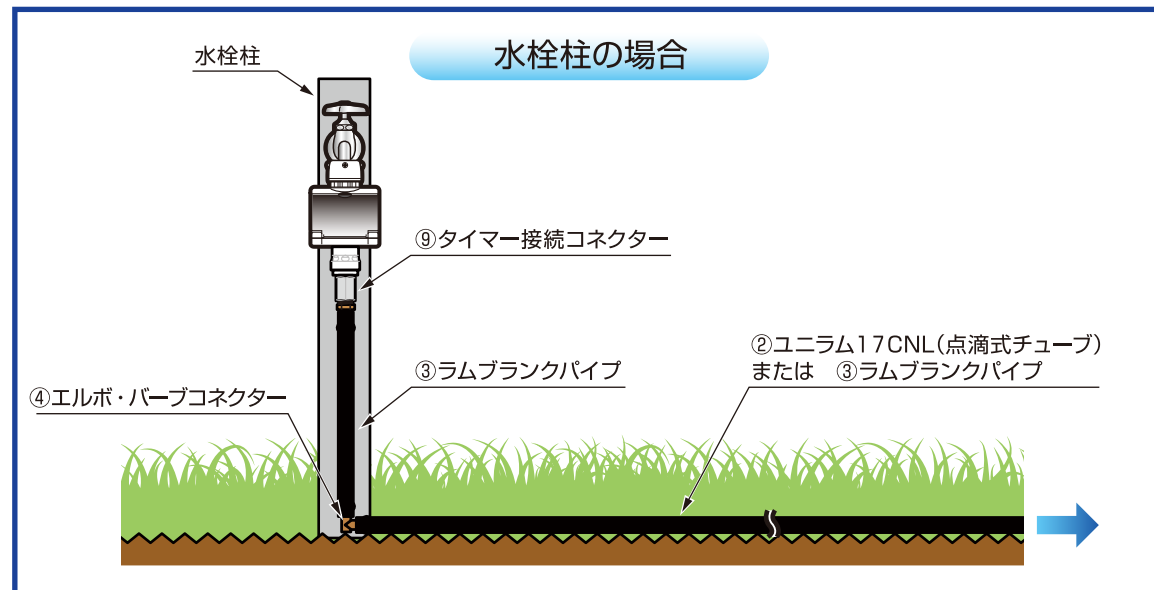


ポリエチレンチューブに一定間隔で点滴口が設けられており、そこからゆっくりと一定の流量で水が出ます。点滴口の内側には、ドリッパーが埋め込まれています。ドリッパーは吐出量を均一にするためのもので、これによって均一な灌水を行うことができます。



<主な仕様>
特徴：目詰まり防止機能、
水だれ防止機能
内径：14.6mm
外径：17.0mm
吐水量：1.6L/h (1穴あたり)
点滴穴間隔：30cm
適正水圧：0.1MPa～0.4MPa

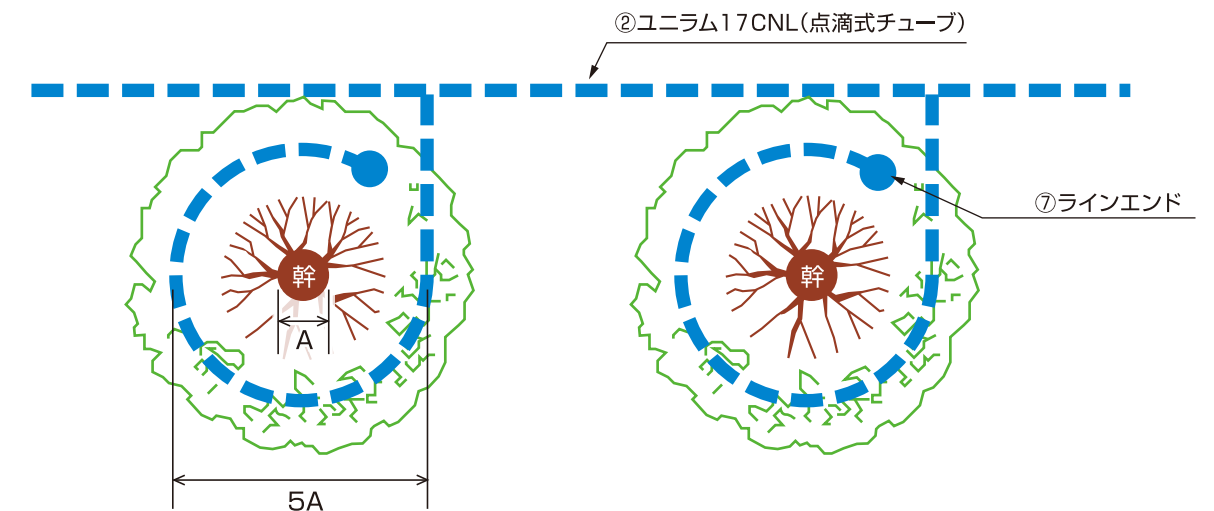
水栓(蛇口)への取付方法



植栽別のチューブ設置例

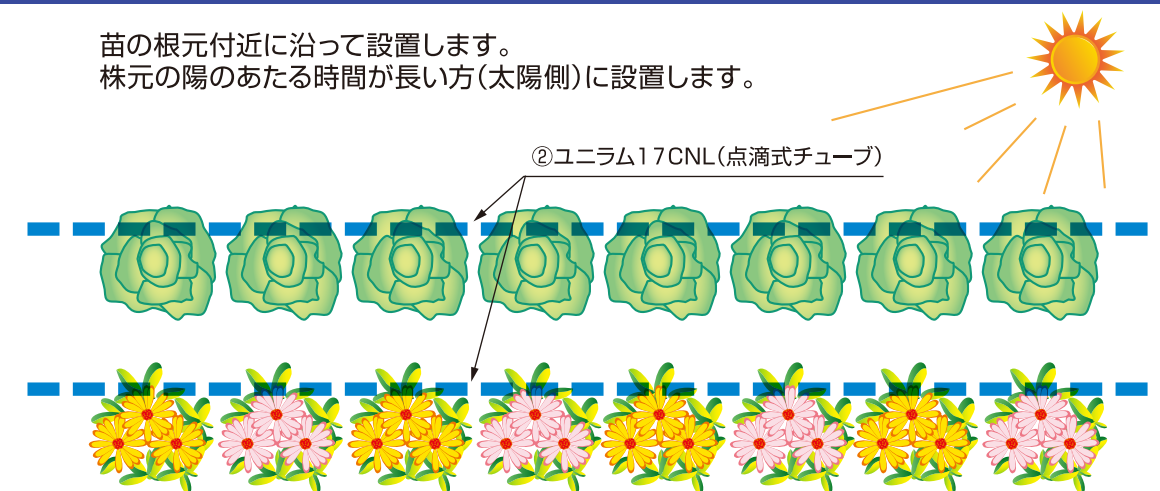
庭木(中木、高木)の場合

樹木の根元に円のように設置します。
円の大きさは根元直径(下図: A)の5倍程度(下図: 5A)の大きさが理想的です。



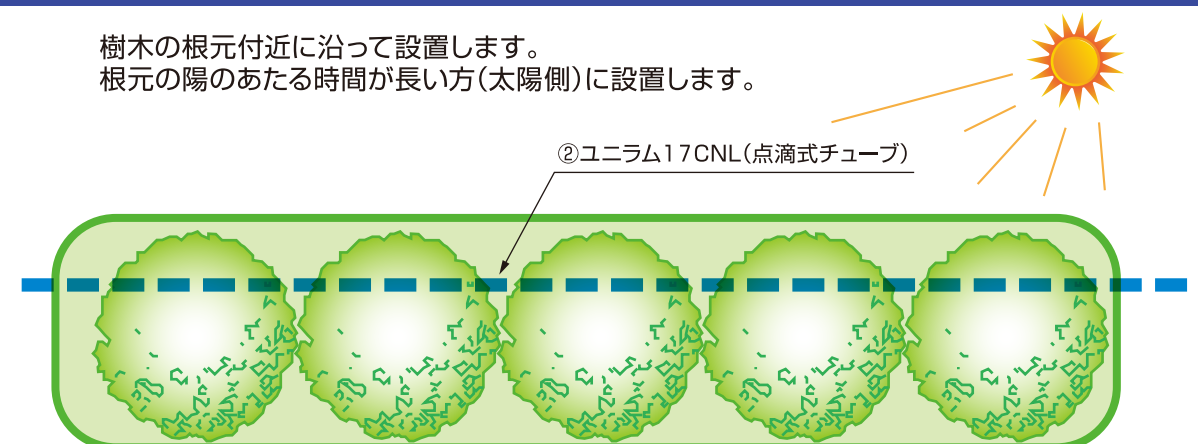
家庭菜園・花壇の場合

苗の根元付近に沿って設置します。
株元の陽のあたる時間が長い方(太陽側)に設置します。

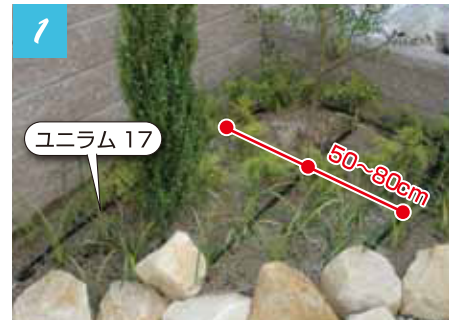


生垣の場合

樹木の根元付近に沿って設置します。
根元の陽のあたる時間が長い方(太陽側)に設置します。



設置手順



配管ルートは事前に検討しておきます。写真のような植込地の場合、チューブの敷設間隔は 50～80cm が適当です。



灌水したいエリアにユニラム17 CNL を敷設します。灌水しないエリア(タイマーの下など)にはラムブランクパイプを使用します。チューブは園芸用はさみなどでカットできます。



チューブは垂直にカットします。斜めにカットするとコネクタへの差し込みが不十分になる可能性があります。



チーズ・バープコネクタやエルボ・バープコネクタなどの継手は奥までしっかりと差し込みます。



ラインエンド使用方法。ユニラム17 CNL の末端に一つのリングを通し、ユニラム17 CNL を折り曲げてもう一方のリングに通して固定します。



チューブ類はフックを用いて地面に固定します。ハンマーなどが必要になります。チューブを傷つけないように注意が必要です。



チューブのコーナー部分や分岐部分、末端部分はチューブが動きやすいため、優先的に固定します。



蛇口に水やりタイマーを取付けます。



ラムブランクパイプにタイマー接続コネクタを奥までしっかり差し込んで接続します。



タイマー下部のニップルにコネクタを接続し、配管完了です。



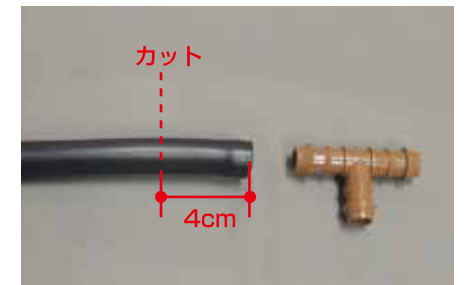
水分センサーを設置してタイマーと接続します。(別添、保証書付き取扱説明書参照)



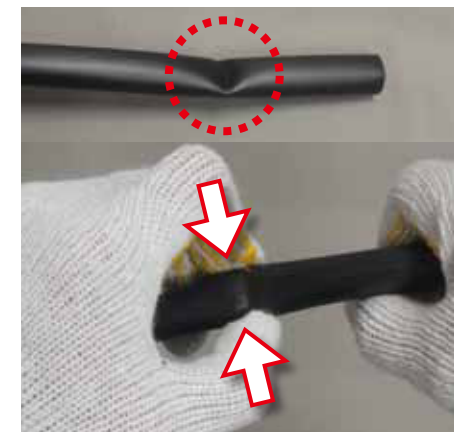
水やりタイマーの“すぐ水やりボタン”を押して、水漏れなどがいないか確認を行います。最後に水やり時間の設定を行い、設置完了です。

設置ワンポイント

準備	コネクタをチューブに接続する際は、軍手をはめると作業しやすく、ケガの防止にもつながります。
	作業前に簡単なスケッチ程度の配管イメージ図を書いておくと、パーツの過不足を確認できます。
チューブ	チューブ設置作業の前に、設置予定箇所に棒などで線(下書き線)を引いておいたり、コーナー部分や分岐部分に目印を設けておくと作業がスムーズです。
	納品時にはチューブの性質上、曲がりクセ(丸み)がついています。作業前に梱包から取出し、陽に当てておくなどして温めるとチューブが軟らかくなりコネクタが接続しやすくなります。
	一度コネクタを引き抜いた部分は使用しないでください。チューブの内側が広がり水漏れする可能性があります。引き抜いた部分は 4cm 程度切り落としてから使用してください。 ※写真 A
	チューブの点滴穴の向きは上・下・横向き、どの向きでも問題ありません。
	チューブを指で押すことで折れ目を戻すことができます。クセがついた箇所は折れ曲がり易くなります。材料に余裕がある場合はその部分をカットして継手でジョイントし直してご使用ください。 ※写真 B
コネクタ接続	チューブは垂直にカットします。斜めにカットするとコネクタへの差し込みが不十分になる可能性があります。
	チューブをカットする際は点滴穴(30cm ピッチにあります)の部分をカットしないようご注意ください。点滴穴から近い箇所でカットするとコネクタが十分に差し込めない場合がありますので、点滴穴から 5cm 以上離れた箇所でカットします。 ※写真 C
フック	チューブの切り口付近を持つとコネクタと接続しやすくなり、チューブの折れ曲がりを防げます。接続しにくい場合は、コネクタを動かしながら差し込みます。 ※写真 D
	チューブとの接続はコネクタの奥まできちんと差し込んでください。 ※写真 E
その他	チューブ固定用のフックは、基本的に 2.5～3m ごとに 1 本使用します。コーナー部分や分岐部分、末端部分はチューブが動きやすいため、優先的にフックで固定していくと作業がしやすくなります。
	フックが地面に十分に打ち込めない場合は打ち込む場所を変更するか、園芸はさみなどでフックをカットして調節します。 ※カットした場合は土への保持力は減少します。
その他	作業中などにチューブの中に異物(砂利、小石、ごみなど)が入ってしまった場合は全ての設置終了後、該当部分に関わるチューブの末端に接続したラインエンドをいったんはずして水を流して異物を排出してください。
	本製品は雨水では使用できません。当社タイマーは一般水道水専用です。



※写真 A



※写真 B



※写真 C



※写真 D



※写真 E